

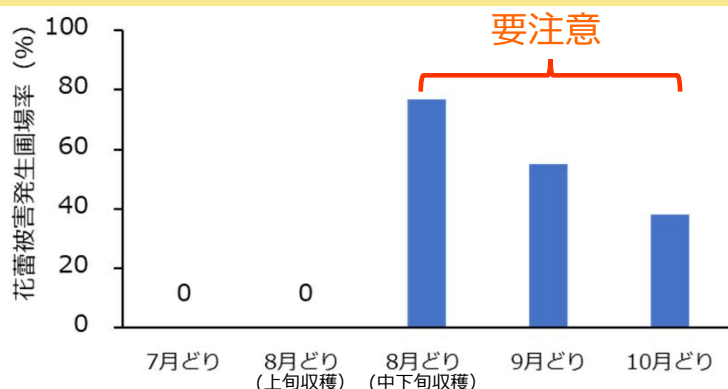
ブロッコリー黒すす病の 上手な防ぎ方

概要 Abstract

ブロッコリー黒すす病の被害に遭いやすい作型と、効果的な防除対策を明らかにしました。

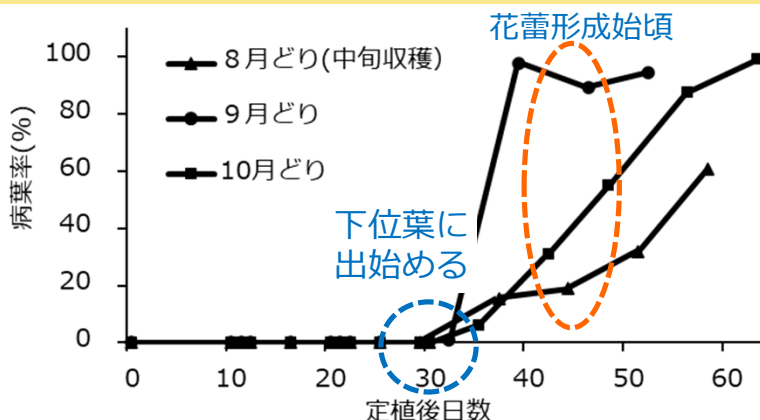
成果 Results

8月中旬以降に収穫する作型は防除必須！



要注意

生育の後半で葉での発病が急増し、花蕾に被害が！



花蕾形成始頃

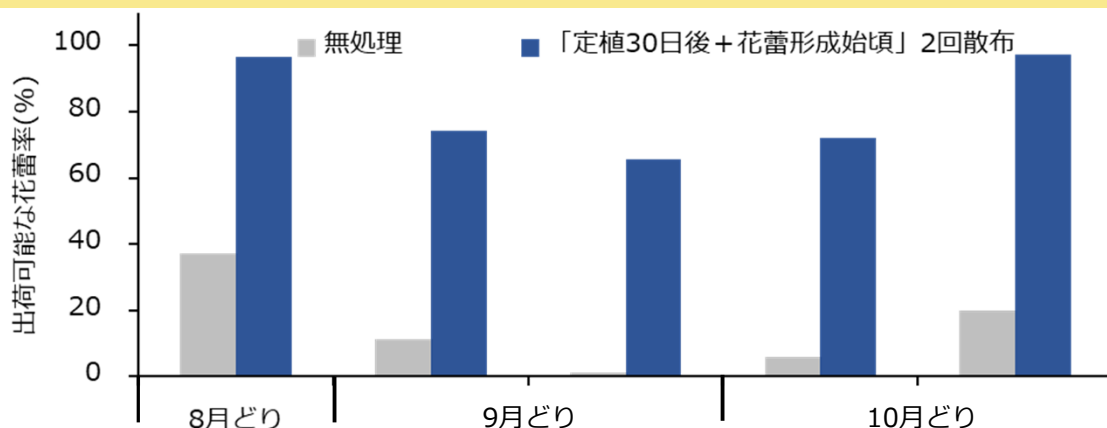
下位葉に
出始める

花蕾が見える頃には葉での発病が増加！
これが花蕾の黒変の原因に！

だから

- ①葉の発病を少なくする。
 - ②出てきた花蕾を病原菌から守る。
- これがポイント！

定植30日後と花蕾形成始頃の2回散布で出荷できる花蕾が増える！



アゾキシストロビン水和剤、
ペンチオピラド水和剤、
ピラジフルミド水和剤、
ピラクロストロビン
・ボスカリド水和剤の
高い効果を確認しています。

連絡先 Contact

中央農業試験場
病虫部 病害虫グループ
0123-89-2291
central-agri@hro.or.jp

普及 Dissemination

ブロッコリーを栽培する際にご活用下さい。